

③日本財団ソーシャルイノベーター支援制度2017の募集

日本財団 ソーシャルイノベーション本部
ソーシャルイノベーション推進チーム
花岡 隼人
(はなおか はやと)

1. 募集の目的・背景

「ソーシャルイノベーター」

新たな発想と明確なビジョンで、セクターを越えたチームを
組成し、社会課題の解決に向けて
失敗を恐れずに活動を推進していくことのできるリーダー

-
- 我が国の社会課題は、社会構造の変化を背景に高度化・複雑化しており、行政やNPO等による単独のアプローチでは解決が困難になっている
 - 今日の山積する社会課題を解決するには、セクター（行政、企業、NPO等団体、研究機関、その他）の垣根を越えて協働し、社会変革、ソーシャルイノベーションを引き起こすことが必要
 - 「ソーシャルイノベーター支援制度」は、そうしたソーシャルイノベーションの創出に取り組む革新的な人材を日本中から募り、日本財団がこれまでにない大規模な支援を行なう制度

2. 支援概要

- 最大で年間1億円、3年間で計3億円の他に類をみない規模で支援を実施

類型	支援金額	選考枠	事業実施期間
ソーシャルイノベーター	500万円	10組程度	2017年8月～ 2017年12月

事業計画詳細化、
チーム組成

ソーシャルイノベーション
アワード

最優秀賞

1億円／年
原則3年間
最大3億円※

1組

2018年1月以後

優秀賞

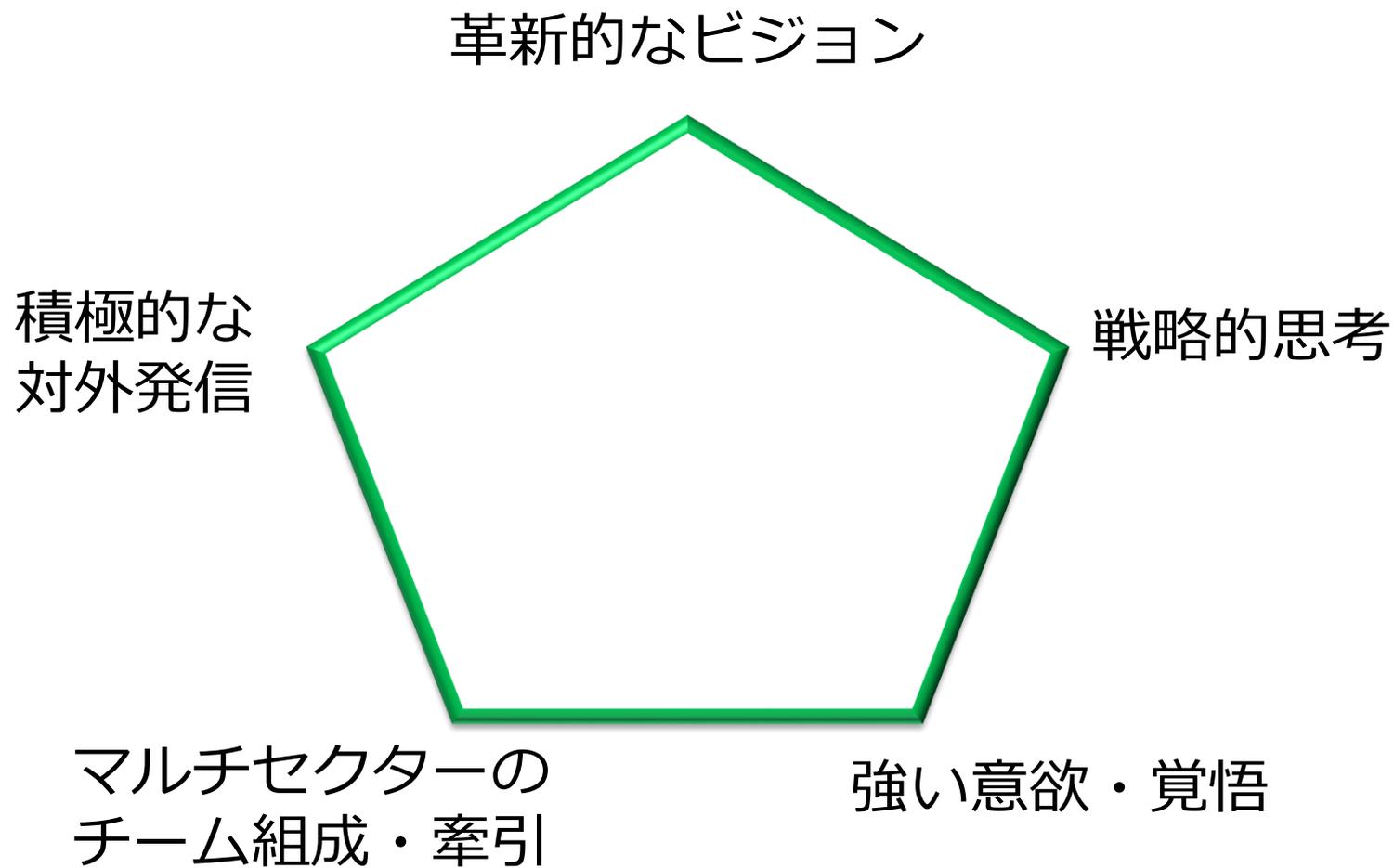
5000万円／年
原則3年間
最大1.5億円※

2組

2018年1月以後

※単年ごとに事業計画を精査したうえで支援金額を決定します。
また、事業計画に応じて上限金額を超えない範囲で3年以上支援する場合があります。

3. 審査の視点



4. 事業分野：多様なテーマを歓迎 (以下は一例)



伊藤 次郎
いとう じろう
NPO法人
OVA
代表理事

自殺予防



岩本 悠
いわもと ゆう
学校魅力化
プラットフォーム
共同代表

地域創生
(高校魅力化)



河内 崇典/高 亜希
かわうち たかのり こう あき
Collective for Children
共同代表

子どもの貧困



塩山 諒
しおやま りょう
NPO法人
スマイルスタイル
代表理事

若者就労



下沢 貴之
しもさわ たかひこ
ライフジム
運営協議会
会長

介護



竹井 智宏
たけい ともひろ
一般社団法人
MAKOTO
代表理事

地域創生
(失敗経験者の
再チャレンジ支援)



槌屋 詩野
つちやし の
一般社団法人
Open Impact Systems
プロジェクトマネージャー

関係性の
可視化



手島 大輔
てしま だいすけ
セルザチャレンジ
代表

障害者就労



中嶋 健造
なかじま けんぞう
NPO法人
自伐型林業推進協会
代表理事

林業再生



林 篤志
はやし あつし
Next Commons Lab
代表

地域創生
(人口流動化)

5. クラウドファンディングの活用

クラウドファンディングとは、不特定多数の人からインターネットを經由して、事業に賛同する人を募り、資金を調達する仕組み。READYFOR株式会社と協働してクラウドファンディングサービスを提供することで、ソーシャルイノベーターがより広い社会からの共感を得られるよう支援



6. スケジュール

時期	予定
2017年4月10日	日本財団公式サイトに募集要項（申請ガイド）掲載
2017年4月17日	申請受付開始
2017年5月19日	申請締切
	（審査期間）
2017年7月下旬	ソーシャルイノベーター選出 （事業検討詳細化、チーム組成、クラウドファンディング）
2017年 11月17日～19日	日本財団ソーシャルイノベーションフォーラム2017（東京国際フォーラム）に参加。事業計画発表、ブース出展など
2017年 11月下旬～12月末	ソーシャルイノベーションアワード授賞式

7. ソーシャルイノベーターからのメッセージ

超課題先進地 海士町
1980年 ▶ 2010年

子どもの数	656人 → 249人
人口	3,537人 → 2,374人
高齢化率	21% → 39%

SOCIAL INNOVATION FORUM 2016

未来の箱庭で生まれた希望